

## 令和元年度学校評価 自己評価

評価基準 4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

### I. 教育理念・目標

評価項目	評価	備考
1. 理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特徴が明確になっているか）	3.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数制のクラスで対話形式の授業を展開。専門職業人として必要な「その場で自分の考えをまとめ発表する」力を育成。</li> <li>・准看護師の求人が激減する中、2年課程の看護学校も減少。低コストかつ最短で卒業を希望する者のニーズに応じている。</li> <li>・ボランティア活動を通して入所者の生活に変化や潤いを提供している。</li> <li>・業界は看護の基本的な知識・技術と専門職業人としての倫理観、主体性を備えた人材を求めており、学科目標・育成人材像はそれらに対応している。</li> </ul>
2. 学校における職業教育の特色は何か		
3. 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか		
4. 学校の理念・目的・人材育成像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか		
5. 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか		

### II 学校運営

評価項目	評価	備考
1. 目的等に沿った運営方針が策定されているか	3.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営方針は、設置母体の方針、教育理念、目的・目標に基づき策定されている。</li> <li>・多磨全生園業務基準、看護学校業務基準に則り教官会議、学校運営会議、医療機器整備委員会等で意志決定されている。</li> <li>・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制は国家公務員倫理規定に基づき整備。看護師倫理綱領、指定規則を遵守している。</li> <li>・学校訪問、学校説明会、HPで情報公開。HPの更新数は増加傾向にあるが、情報量は少ない。</li> </ul>
2. 事業計画に沿った運営方針が策定されているか		
3. 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか		
4. 人事・給与に関する制度は整備されているか		
5. 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか		
6. 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか		
7. 教育活動等に関する情報公開が適正にされているか		
8. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか		

### III 教育活動

評価項目	評価	備考
1. 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程の考え方および到達レベルはシラバスに明示している。</li> <li>・カリキュラムは体系的に編成されている。配列は実習施設や講師の影響を受けることがあるが、有資格者の学校である強みを生かし柔軟に対応できている。</li> <li>・精神、母性領域の臨床経験を持つ専任教員がいないため、専門領域の臨床経験を持つ外部講師を確保している。</li> <li>・NC, NHO 病院との連携が取れており、専門性の高い講師の派遣を受けている。</li> <li>・関連施設から依頼されたインターンシップを受け入れている。</li> </ul>
2. 教育理念、人材育成像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか		
3. 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか		
4. キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか		
5. 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか		
6. 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか		

評価項目	評価	備考
7. 授業評価の実施・評価体制はあるか		<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業評価の回収率が低い時があるため実施方法の改善が必要。</li> <li>・教官は学会や研修に積極的に参加し自己研鑽している。夏季休業中には集中的に伝達講習を行っている。研修・研究費は十分とは言えない。</li> </ul>
8. 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか		
9. 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか		
10. 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか		
11. 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか		
12. 関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務を含む)を確保するなどマネジメントが行われているか		
13. 関係分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか		
14. 職員の能力開発のための研修等が行われているか		
15. 教員の研究活動を保障(時間的・財政的・環境的)しているか		
16. 教員の研究活動を助言・検討する体制を整えているか		

#### IV 学修成果

評価項目	評価	備考
1. 就職率の向上が図られているか	2.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職率 100%</li> <li>・国家試験合格率 100%</li> <li>個別性に合わせた指導を実施。</li> <li>・直近の4年間、退学者はいなかったが、今年度進路変更1名。</li> <li>・今年度から卒業生の里帰り企画を開始。</li> <li>・卒業生の動向把握は十分にはできていない。</li> </ul>
2. 資格取得率の向上が図られているか		
3. 退学率の低減が図られているか		
4. 卒業生・在校生の社会的な活躍および評価を把握しているか		
5. 卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか		

#### V 学生支援

評価項目	評価	備考
1. 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	2.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担任が相談の窓口となり支援。第1希望の病院への就職率は76%</li> <li>・カウンセラーを募集しているが、学生と社会人の悩みに対応するカウンセラーの確保が難しく現在学生相談室は設置できていない。引き続き確保に努める。</li> <li>・奨学金の情報提供に努め相談に応じている。令和3年度高等教育の奨学支援新制度に申請予定。</li> <li>・校舎が狭く、学生専用の食事・休憩スペースの確保が難しいが、教室・テラス・在宅室を解放している。園内の食堂、売店が遠いため外部業者からのお弁当の注文を学校がとりまとめている。また、自動販売機を災害対応型へ変更。</li> <li>・ほとんどが社会経験のある学生であり、自分で意思決定を行っている。必要に応じて第一保証人へ連絡している。</li> <li>・保育園の送迎等の特別な事情がある学生に対しては、車通学を許可し学校の駐車場を使用できるようにしている。</li> </ul>
2. 学生相談に関する体制は整備されているか		
3. 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか		
4. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか		
5. 課外活動に対する支援体制は整備されているか		
6. 学生の生活環境の支援は行われているか		
7. 保護者と適切に連携しているか		
8. 卒業生への支援体制はあるか		
9. 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか		
10. 高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか		

## VI 教育環境

評価項目	評価	備考
1. 施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室・実習室とも狭小のため、設置母体の研修棟研修室や休眠病棟を活用している。</li> <li>・ハンセン病の歴史を理解し専門職業人としての倫理観を養うために他のハンセン病療養所を見学する機会を設けている。</li> <li>・学生寮で非火災報が2件発生。防災マニュアルを改定し対策の充実に努めた。</li> </ul>
2. 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか		
3. 防災に対する体制は整備されているか		

## VII 財務学生の受け入れ募集

評価項目	評価	備考
1. 学生募集活動は、適正に行われているか	4.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校説明会を3回実施。丁寧な質問応答が好評。出願者は昨年度より増加し、定員を確保。</li> <li>・国立の機関のため学費は安い。</li> </ul>
2. 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか		
3. 学納金は妥当なものとなっているか		

## VIII 財務

評価項目	評価	備考
1. 中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか	4.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の機関であるので安定。</li> <li>・学校の財務としては公開されていない。設置母体の厚生労働省医政局で管理されている。</li> </ul>
2. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか		
3. 財政について会計監査が適正に行われているか		
4. 財務情報公開の体制整備はできているか		

## IX 法令等の遵守

評価項目	評価	備考
1. 法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専修学校設置基準、養成所指定規則、東京都指導ガイドラインを遵守し運営している。</li> <li>・多磨全生園保有個人情報管理規定に則って対策を講じている。学生には実習共通事項で説明し、情報リテラシー教育を適宜行っている。</li> <li>・重点目標を教職員全員で設定し改善に向けて取り組んでいる。</li> <li>・今年度より自己評価結果を公表予定。</li> <li>・学生や保護者が必要時相談できるよう努めている。よりよい体制作りを目指す。</li> </ul>
2. 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか		
3. 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか		
4. 自己評価結果を公開しているか		
5. 学生や保護者が自由に意見を言える体制が整備されているか		

## X 社会貢献・地域貢献

評価項目	評価	備考
1. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校祭では地域住民と交流しハンセン病研究部の活動報告を通じてハンセン病に関する啓発活動を行った。また、要請により教材の貸し出しを行っている。</li> <li>・東村山市や障害者のサマーキャンプ等のボランティア活動に関する情報を提供。</li> <li>・看護教員のインターンシップを受入れた。</li> </ul>
2. 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか		
3. 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか		

本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画に対する評価

#### 1. 健全な学校運営

- 1) 入学試験の受験者数を増やし、質の高い学生を確保する。
- 2) 働きやすい職場づくり

<評価>

- ・学校訪問の時期を早めたことで准看護学生が夏季休業に入る前に学校説明会の情報提供を行うことができた。また、国家試験合格状況や就職状況の情報提供や、准看護学生の関心の高いテーマについて学校説明会で模擬授業を行うなど、効果的に募集活動を実施することができた。受験生の増加および定数確保につながった。
- ・成績管理をシステム化し手順書を作成した。その成果は次年度評価する。
- ・年休の取得率は向上し超過勤務時間は減少した。
- ・長期病休者が出た際には、教官間で協力し合って学校行事や臨地実習を運営した。学生と教官が一致団結したことにより文化祭では一体感、達成感を感じることができ、学習や自己の目標達成に向けてのモチベーションが高まった。

#### 2. 質の高い教育実践

- 1) 国家試験対策マニュアルを策定し、100%合格を実現する体制を整備する。
- 2) 卒業時到達度評価の活動を定着させる（目標値は中間評価時に設定）。
- 3) 研究授業や研修等への参加をとおり、教官個々のスキルアップを図る。
- 4) 研究に取り組み研究成果を学会等で発表できる。

<評価>

- ・国家試験対策のマニュアル化には至らず、担任業務の国家試験対策の見直しにとどまった。本校の学生は社会人であり、その上少人数のため、国家試験対策は大枠ができていれば詳細なマニュアルはなくても、クラスの特徴やニーズに合わせて柔軟に対応できると気づいた。
- ・家庭と学業の両立に対する支援が難しい。次年度は学生相談室を設置したい。
- ・卒業時到達度評価の定着を妨げる要因が分かったため、今後その是正を図り活用を推進していく。

#### 3. 学習環境の整備

- 1) カウンセラーによる学生相談室の開室を目指す。
- 2) 適性に合った進路選択を本人が納得してできるように支援し、就職率100%を達成する。
- 3) 図書室・実習室・情報科学室を開放し活用しやすくする。

<評価>

- ・カウンセラーが確保できず学生相談室を開設できなかった。次年度は設置母体の協力を得ながら確保に努める。
- ・設置母体の採用枠が少なくなり、母体以外の就職者が多くなったため、就職支援は1年次より開始し1年次の年度末にはほぼ意思決定できるように指導ができた。2年生には面接、小論文の個別指導を行い支援した。2年生の就職率は100%。
- ・実習室の危険物の保管場所を変更し9月に開放、図書室については管理方法を学生が検討し10月から解放となった。利用率は大差はないが、学生の満足度は高まった。情報科学室は厚労省の端末であるためセキュリティ上実施困難であった。

#### 4. 危機管理

- 1) 看護学校災害対応マニュアルをブラッシュアップする。
- 2) ハラスメント対応について自己研鑽に努める。
- 3) サポートが終了するWindows7PCの整備を園へ要請する。
- 4) 校舎のセキュリティ対策について園と協議を進める。

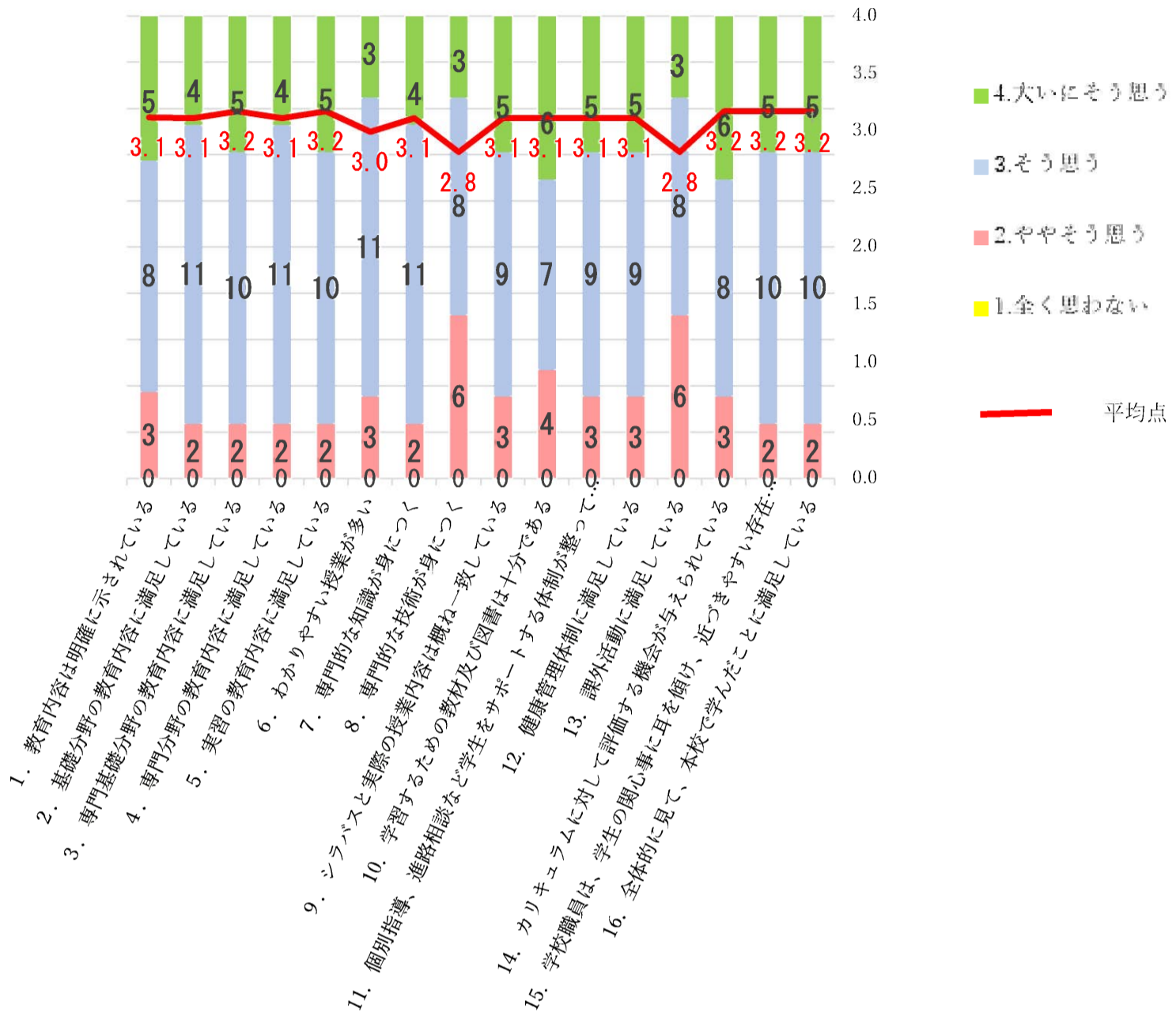
<評価>

- ・学生寮で非火災報が2度発生。その原因追及や対策を検討する中で確実な安全確認や確実に伝達する重要性に気づくことができた。
- ・令和元年房総半島台風時はマニュアルに沿って速やかに対応することができた。今後、各自ハザードマップで自宅周囲のリスクを確認し、個人・家族の防災行動計画を普段から考えておくように指導していく。
- ・ハラスメント研修は参加できなかったため引き続き自己研鑽に努めていく。
- ・SEの協力により情報科学室PC、講義用PC等の更新ができた。
- ・学校裏側玄関は通学時間帯と昼休み以外は施錠管理とした。学校周囲に不審者が出た際には、警察や園内パトロールを強化してもらうなどの対応を取った。

令和元年度

学生による卒業時のカリキュラムに関する満足度

n = 16~17



# 令和元年度 国立療養所全生園附属看護学校 学校評価

## NHO 西埼玉中央病院附属看護学校による外部評価

### 1. 評価日時

令和2年7月21日（火）14:00～17:15

本来、令和元年度の学校評価は令和2年3月に実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により7月21日に延期して実施した。

### 2. 評価内容

文部科学省「専修学校における学校評価ガイドライン」を参考に10項目（教育理念・目標、学校運営、教育活動、学修成果、学生支援、教育環境、学生の受け入れ募集、財務、法令等の遵守、社会貢献・地域貢献）の評価内容について評価する。

### 3. 評価基準

4：適切、3：ほぼ適切、2：やや不適切、1：不適切の4段階評定

### 4. 評価者

NHO 西埼玉中央病院附属看護学校 教育主事

NHO 西埼玉中央病院附属看護学校 教官

### 4. 評価結果

評価内容の評定平均値（1～4点）

評価項目	項目1	項目2	項目3	項目4
評価内容	教育理念・目標	学校運営	教育活動	学修成果
自己評価	3.6	3.4	3.2	2.6
外部評価	3.4	3.8	3.4	3.0

評価項目	項目5	項目6	項目7	項目8
評価内容	学生支援	教育環境	学生の受け入れ募集	財務
自己評価	2.8	3.0	4.0	4.0
外部評価	3.4	3.7	4.0	3.5

評価項目	項目9	項目10
評価内容	法令等の遵守	社会貢献・地域貢献
自己評価	3.0	3.0
外部評価	3.2	3.3

### 項目1：教育理念・目標

- ・倫理教育や生活者の視点を学べる環境にあることを教育の強みとして、倫理観の高い生活者の視点を持った看護師の育成を明文化してはどうか。
- ・学校の環境は、療養者の生活環境に触れることができ、療養者の情報も入って来やすい。実際に実施している人権教育をもっと表現してはどうか。

### 項目2：学校運営

- ・運営方針は適切に策定されている。
- ・ホームページの情報量は少ないが、教育活動は紹介されている。
- ・情報のシステム化は進んでいる。システムに慣れていないだけであって、業務の効率化が図られていない訳ではない。

### 項目3：教育活動

- ・新しいことを開発するだけでなく、今実施していることを評価してつなげていくことも開発である。学校全体で教育方法を共有していくとよりよい教育ができるのではないか。
- ・資格取得に関する指導体制があり、カリキュラムの中で体系的に位置づけられている。人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる教官も確保されている。
- ・研究活動を行うための時間、旅費を確保している。教官が所属する研究会によっては大学の先生にアドバイザーを依頼している。

### 項目4：学修成果

- ・国家試験の合格率は100%である。
- ・里帰りを始め卒業生の動向把握に努めた。

### 項目5：学生支援

- ・奨学金の情報提供をしている。高等教育の修学支援新制度を申請予定。
- ・文化祭に取り組み学生を支援するなど教官の指導体制を整えている。
- ・学生の生活環境はいろいろ工夫をして場所を確保している。
- ・准看護学校でミニ模擬授業を紹介しているので活動している。

### 項目6：教育環境

- ・他のハンセン病療養所を見学する機会を設け、倫理観を養うために活動をしている。
- ・防災体制を整えている。
- ・学生のリーダーシップについては、時には2年生がリーダーシップを取ったり、1・2学年が協力できるような支援ができるとよい。

### 項目7：学生の受け入れ募集

- ・アドミッションポリシーを示すとよいのではないか。

## 項目 8：財務

- ・国の財政が厳しいことを踏まえた教育活動の実践が必要ではないか。

## 項目 9：法令等の遵守

- ・今後自己評価結果を公開するため情報公開は適切である。
- ・自由に意見を言える体制が整備されているかについては、ほぼ適切と評価してよいと考える。

## 項目 10：社会貢献・地域貢献

- ・ハンセン病に関する啓蒙活動を行っている。

## 重点的に取り組むことが必要な目標や計画

### 1. 健全な学校経営

- 1) 入学試験の受験者数を増やし、質の高い学生を確保する。
  - ・説明会参加者が増え、受験者が増えたことは評価できる。
  - ・貴校が考える「質の高い学生」とはどのような学生なのか、明記するとよい。
- 2) 働きやすい環境づくり
  - ・超勤は減少。超勤の中身を確認し、何がどのように減少しているのか明らかにするとよい。

### 2. 質の高い教育実践

- ・学生相談室に関しては、カウンセラーの確保と並行して教官が学生の相談にのれるように体制を整えていくことが必要。

### 3. 学習環境の整備

- ・自己評価に追加する内容なし。

### 4. 危機管理

- ・体制は整えられており評価できる。さらに教官全体で協力し危機管理に取り組んでいくとよい。

## 総評

貴校は、「ハンセンの歴史や入所者の置かれた立場を身近に感じ、人権や生活や老いについて学べる」ことが教育の特色である。これは学校の強みだと思うので、全面的にアピールするとよい。そうすれば、関心があったり極めたいと思う受験者が増えるのではないかと。また、ここで学んだことは学生の強みにもなる。就職先にとってもそのような教育を受けた学生を受け入れることは有益である。現在行っている教育活動を積極的に言語化し、実際行われている学校教育の内容をもっと社会にアピールされるとよい。